

I 全体のコンセプトについて

(1) ご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
上位・関連計画、検討経緯等の確認・継承	まずは、「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」という基本構想のテーマを確認し、検討委員会の共通の目標にしたい。	齋藤
	区民、団体、区職員が混ざり合い、共生する「汽水域」となり得る場であること。	柴田
	空間的にも機能的にも「ひらかれ、みえる」場であること。	柴田
	提案書にある内容に異論がありません。	藤原
場所の位置づけ	「誰にとっても親しみやすいThird Place(第三の居場所)」	藤原
	「寄り道したくなる区役所」	藤原
	年齢問わず、誰もが利用しやすく気軽に立ち寄ることのできる施設	松本
	区役所に行く用事がなくても、公園に散歩に行くような感覚で立ち寄れるような場所	古森
	訪れた人どうして、新たなつながりが生まれる場所	古森
	訪れた人が、必要に応じて多様な利活用の選択肢がある場所	福岡
	朝～夕方、平日～休日などで常に変化があり、何度でも訪れたい場所	福岡
運営	世田谷区に関わるあらゆる人が、自分たちを表現するステージ。	福岡
	施設・広場・屋上緑地の（管理）ではなく、積極的な（マネジメント）を行うという意識が必要。官側でかっちりとした管理をするのではなく、必要に応じて民の力も生かして全ての施設の利活用を（振り付けて）いく司令塔が必要。区民の利活用、主体的な活動の場、自主事業などの積極的な展開が可能なオープンで持続的なマネジメントの枠組みをしっかりと定める必要がある。自治と協働のシンボリックな見え方を提供する。そのためには、初めは実験的な運用をすることが効果的である。世田谷文化生活情報センターがオープンしたときに、5年間「ぶりっじ世田谷」という実験的な取り組みを実行委員会方式で行った経験がある。市民活動のネットワークが広がるきっかけとなった。また、新しい世代が主役になるきっかけともなった。少なくとも第1期オープンに合わせた、実験的取り組みができることよ。	福岡
事業・活動	区民×区職員。区民×地元住民。多様な主体×多様な主体。若者×NPO。などが混ざり合うための企画をつくる。実験的な「運用をしながら場を育ててゆく」。将来像はそこから生み出されるのではないだろうか。	齋藤
事業・活動×付帯設備・備品等	「繋がりを生むしかけ」について、具体的にはストリートファニチャーや植栽（ポット）が考えられるが、既製品を購入するのではなく、地域の方々と制作できると良いと思います。→「運用しながら場を育てる」にも繋がります。	片切
付帯設備・備品等	検討会は、ハード（施設・設備）よりソフト（利活用の方法）を主に論じる場であろう。だが、ソフトはハードの前提があって初めて論じ得るものでもある以上、ある程度の修正は、当然あってしかるべきで、その最たるものが、たとえばWi-Fi環境の整備だと思う。	大坪
	あらかじめ死角が生まれることを考慮し、補助スクリーンの設置を想定するなどしてはどうか？	大坪
	各施設・屋外空間ごとに利活用の想定（プログラム）とそのために必要な設え（家具、日除け、イベントに必要なインフラ等）が計画・整備されていること	福岡

分類	ご意見	委員 (敬称略)
ハード関連	別紙の区民交流スペース等設計概要に“ガラス張りの設計のため、空間的・機能的に「ひらかれ、みえる」ことにより、通りがかりの人にも見えてもらえる効果が期待できる。”とあり、これらの利点を最大限に生かすべく、室内に生涯学習プログラム等で作成した掲示物や展示スペースを制作すること、また、区内小学校等と連携し作品(学校の学習活動において作成したものetc 書道作品、絵画作品)を紹介する場などが設けられたりすると地域間の根強い連携も期待できるのではないかと考えた。	松本
	抽象的な文言ではなく、具体的なプログラムの大きさ（大中小）、広場や屋上緑地の利活用のシミュレーションを図面の上で行い、視覚化すること。区民のあらゆる利活用を想定した上で、計画・整備されるべき。現計画において足りない点は最大限修正を加えること。	福岡
	考え方としては、「アフオーダンス（行動を導き出すデザイン）」を重視すべきである。すなわち、「休息」「交流」を目的とするなら、庭園にベンチは必要→ベンチは、夏の日射を遮る位置に置かれるのが妥当（日陰と日向なら、人は日陰を選ぶ）→対面しやすい配置ならば、自ずと会話が生まれ、かくて目的は成就されやすくなる。	大坪
	図面の什器配置からは、設計者の想定が見て取れるが、これでよいか？	大坪
	死角を生む柱は、構造設計上必須のものなのか？	大坪
	なお私は、大空間は貴重で、貸出スペースとフリースペースを分けるにしても、いざとなったら間仕切りは取り除けるようにすべきだと思う。	大坪
	景観の良さを追求して、世田谷にちなんだ資源、自然素材等で内装したり、照明やインテリア等に工夫を凝らしたりすることで「世田谷らしさ」を表現し、世田谷区民や市民活動を象徴する場とする。	柴田

(参考) 「区民交流スペースの運用に関する検討会提案書（令和元年9月）」より

【将来像・場のイメージ】

- ・区民、団体、区職員が混ざり合い、共生する「汽水域」
- ・空間的にも機能的にも「ひらかれ、みえる」

【実現のための必要事項】

- ・幅広い人たちに利用される場にする
- ・繋がりを生むしかけを備える
- ・運用しながら場を育ててゆく

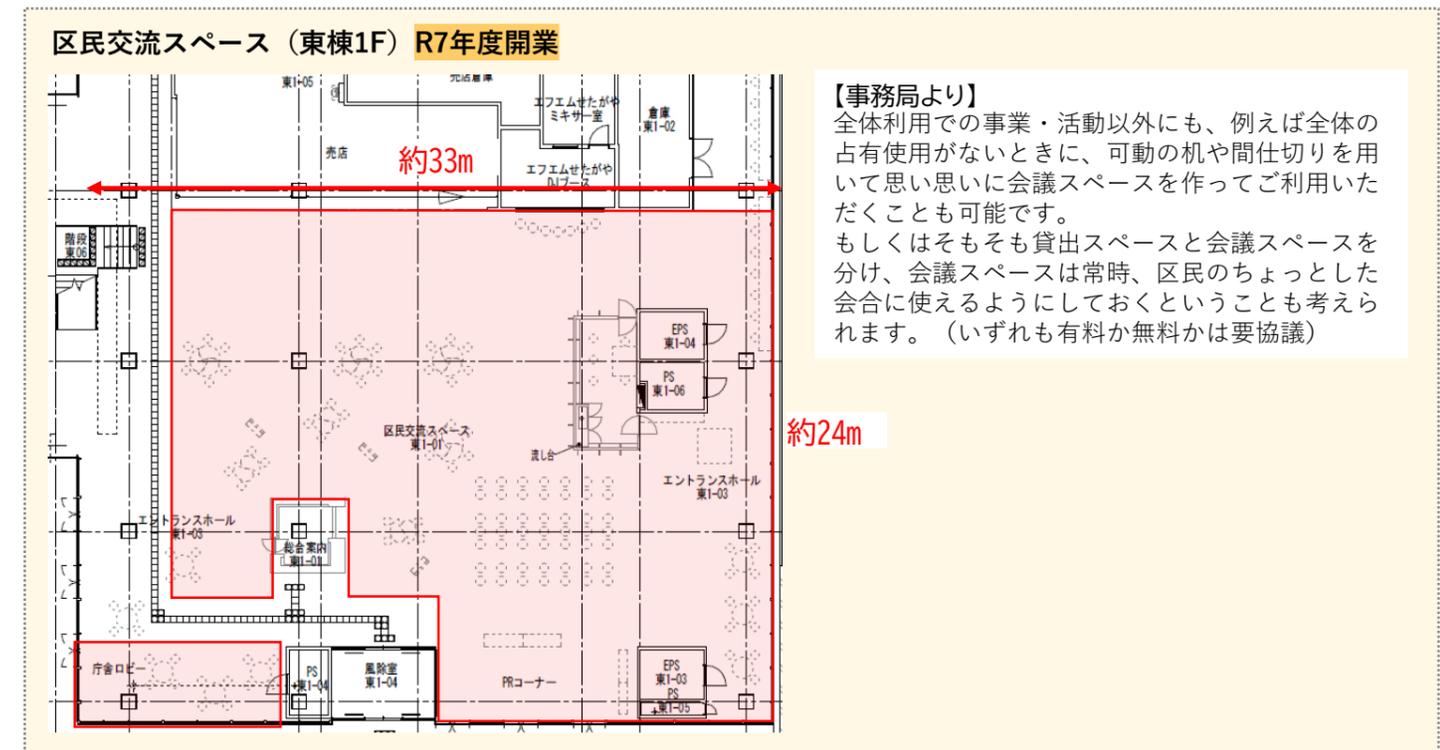
II 各施設の活動イメージ

(1) 区民交流スペースのご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)	
事業・活動	公開審査会や公開会議、企画展などを開催することで、情報が共有され、人が集まりつながる機会を生むスペース。	柴田	
	平日の普段利用と非日常のワークショップやイベントでの取り組みが、時間ごとに組み立てられる実験的な運用スタイルを3年間継続してみる。	齋藤	
	シェアキッチンとして運営し、スモールビジネスの立ち上げ支援的な用途や、世田谷産の農産物などの利活用啓発、実際の提供などの「市民活動」でも活用されるようにするためキッチンスペースでは、営業行為が行えるように各種許可が取得できる什器備品類を用意する →菓子製造の許可なども	吉澤	
	カウンタースペースで喫茶やスナックなどのスタイルで「市民活動」が展開されることに対応するため、区民利用スペースのカウンターでは、営業行為が行えるように各種許可が取得できる什器備品類を用意する→食器類なども/管理者側に食品衛生管理者を設定する	吉澤	
	世田谷を研究フィールドとして今以上に活発に利用してもらうため/区政の課題を若年層とともに取り組むことで、区側にも新たな視点の獲得などの機会が得られるようにするため、地域やまちづくりをテーマにしている大学研究室や学生との協働ゼミスペースを設定する →世田谷の大学コンソーシアム関係や、地域、まちづくり、コミュニティ政策などの研究室を定期的に招聘してハンズオンの学習研究活動を区民、区職員と協働して行う	吉澤	
	映画産業の拠点が複数ある世田谷らしい市民協働の活動を実現するため、せたがやフィルムコミッションを区民協働で運営する →区内での映画、ドラマなどの撮影を区民協働で一元的にサポートする	吉澤	
	世田谷において重要と思われる来街者の経済効果を拡大する政策的観点から、観光を区民視点を基軸に推進することで住宅中心の街らしい観光政策を推進するため、世田谷の都市観光を適切にプロモーションする活動を区民協働で運営する →区内の観光情報の編集や発信を区民視点を基軸に行う	吉澤	
	低炭素化、SDGs推進、エシカル消費など先の条例にて示された従来の縦割り行政では対応しきれない今日的テーマを取り組む拠点としての市民利用施設であることを標榜するため、SDGsに紐づく各種の協働性が求められる行政施策は、この場所で打ち合わせや協働作業、トライアルなどが随時行う。場合によっては部署の出先がここにある。	吉澤	
	地域行政推進条例の制定に向けた動きを可視化し、真の協働や参加を実現するための拠点として活用するため、世田谷の協働と参加を前提とした新しい自治に関する動きがこの場所で常に把握できるようにする。制度の確立に向けた試行をこの場所で実際の政策や地域を設定して実施する。	吉澤	
	区が主導するプログラム、区民主体のプログラム、そのほかの事業などを想定し、単なる貸部屋にならないように計画する必要がある。	福岡	
	上記を想定した家具、設えの検討・確認が必要。		
	利用方法	貸し出しのイメージをいくつかの用途に分けて想定 子どもや若者がお店を開くなど営利的な場所にもなってほしい いくつかのNGだけ決めて自由に貸し出し事例を積み上げる 1人で作業することも、何人かで話したり勉強したりすることもできるように、机の種類や配置を考える 一部の人がいいつも独占することのないような仕組みが必要。 「座ってお茶を飲み話し合う」ということが自然にできる場所。 ちょっとした井戸端会議や休憩場所として、気軽に参加できる空間があるとよい。交流スペースなので、だれもいない静かな空間ではなく、隣の話し声が少し聞こえる程度の、賑わいのある空間になるといい。 それぞれのスペースによって活動内容は違うけれど区民交流スペースでは開放的な多角的な利用が可能である。基本的にテーブルのない自由な空間として、個々が心地良い場として利用できるように目指す。	藤原 藤原 古森 柴田 柴田 細川 和地

分類	ご意見	委員 (敬称略)
付帯設備・備品等	【フリースペース】 幼児や子供が遊べるスペースを常時一角に確保しておくのはどうか。 →フロアマット等を敷く。(絵本やちょっとした玩具も用意) 区役所敷地内を「居場所」として活用するために、敷地内のあらゆるスペースで休憩・休息・喫食・打合せ・おしゃべりができるプレイスメイキングを行う →・業務と業務外が入り交じるような、とくに職員側の「やってよし」ルール大事 ・備品の移動などが容易になるような「だれでも管理」的発送大事(原文ママ、発送→発想?) ・ホワイトボードやモニターなども自由に使える、マーカーや付箋がだれでも借りられる ・ゴミの処理に迷わない(4R前提にしながらもゴミ持ち帰り等ではない) ・資産管理が必要なものはNFCタグなどを活用	松本 吉澤
	対利用	非営利の活動団体だけ使えるのか、営利(事業利用)団体も利用できるのか整理が必要
付帯設備・備品等	平日利用は、図書館利用者、近隣大学・高校・中学の学生・生徒、区役所・保健所の利用者、地元住民などが想定される。 窓辺に滞在できる魅力的で便利な空間がほしい。	齋藤

※次ページに続く



II 各施設の活動イメージ

(1) 区民交流スペースのご意見・アイデア（続き）

分類	ご意見	委員 (敬称略)
その他	発災時に被災者支援の拠点になる コミュにケーションを促す場となるようなしかけの工夫が必要。	第1回意見 福岡
	区民の繋がりを生むしかけを備える。 廃棄物抑制のフラッグシップを区役所が示すために、庁内の飲食販売においてリターナブル容器の運用を行い、4Rの徹底された施設とする →キッチンカー、ポップアップ、レストランのテイクアウトなどで使用されるリターナブル容器を庁内共通で運用する。	柴田 吉澤
運営体制	実験的コンシェルジュの運用。夜間や休日などのに「区民交流アワー」を設け、総合案内を希望する地元団体やテーマ型NPOが日時限定で取り組んでみる。区民交流アワーをPRすることで、個人や団体にも関心をもちつつこの場所を訪れる機会をつくる。 既存のイベントや行事は厳選し、新しいイベントを育てられるような学芸員やエデュケーター的な役割を担うNPOが運営に関わるとよい。	齋藤 齋藤
	「区民がコンシェルジュになり来庁者を案内する」ような、プロの区民、地元の方々が運営に参加	第1回意見
	区民が主役になるような運用を具体化していくと考えるよりも、区民のしたいことを実現できるよう具体化していくと考える方向で運用を進めていきたいと考えます。	和地
	プレイスメイカーの担当チーム（汽水域チーム）との話し合いが最も重要になります。担当チームのメンバーとしてプロの区民、地元の方々が考えられます。 活動内容を場所で分けて担当チームを作っていく必要があります。営利、非営利団体の問題もあるので、区の職員の参加はそれぞれ必要です。どのように区民からやりたい活動を吸い上げていくのかという話し合いや工夫が必要になります。そういった活動をする”汽水域”という場であると区民にアピールしなければならない。	和地 和地

分類	ご意見	委員 (敬称略)
付帯設備・備品等	友人とオンライン授業を受けるために強いWi-Fiを整備してほしい	第1回意見
	スマホ等を充電するための電源がほしい	第1回意見
	強力なフリーWi-Fi&充電。格差解消と災害対策のため 「座ってお茶を飲み話し合う」ということが自然にできる場所。	藤原 柴田
	【フリースペース】 幼児や子供が遊べるスペースを常時一角に確保しておくのはどうか。 →フロアマット等を敷く。(絵本やちょっとした玩具も用意)	松本
	平日利用は、図書館利用者、近隣大学・高校・中学の学生・生徒、区役所・保健所の利用者、地元住民などが想定される。窓辺に滞在できる魅力的で便利な空間がほしい。	齋藤
	(幅広い利用者を獲得するために)敷地内のあらゆるスペースで快適にインターネットと電源が使える(ようにする)	吉澤
	→公用ネットワーク、パブリックネットワーク両方とも 防災啓発を日常の利用から行うために、敷地内のあらゆるスペースが災害時の滞留空間として機能するよう、備蓄品準備を行う	
	→防災備蓄は法令に基づく準備が行われるとの認識だが、平時のプレイスメイキングの観点と有事の観点を両立させるような備品準備と運用を行う。たとえば授乳ブースや、テレカンブースを避難所用ブースと兼ねるような。	吉澤
	カウンタースペースなど、区役所伐採樹を活用したインテリア造作のコーナーを実現する	吉澤
	区民自らが情報発信を行うことを支援するほか、行政の広報広聴においてもFM世田谷に留まらないオープンなスタイルでフレキシブルに発信を行えるようにするため、インターネット配信機能や収録スタジオなどをいまからできる範囲で全力で準備する →有線LAN接続/配信用PC/カメラ/マイク/ミキサー/スイッチャー/グリーンバック	吉澤
ハード関連	「開放感」と「落ち着き」の両方ある空間 (天井が低く落ち着いた雰囲気のほうが良い場合も多い)	藤原
	照明が調光できる	藤原
	平面図を見る限り、フレキシブルすぎる。前述の通りしっかり想定される利活用を当てはめ、可視化して検討する必要がある。建築の仕事の中に含まれるものだと思うが、ただのハード整備、空の箱をつくるのが(柔軟な利活用を生む)訳ではないことを認識することが必要。	福岡
	間仕切りがどこにあるか確認したいです。 カーテン等で更に柔らかく仕切ることが出来ると、災害時など(更衣室や保健室のような、プライバシー保護が必要な用途など)で便利かと思えます。 シアターカーテンのように使うと、簡易的な発表会なども出来るかもしれません。	片切
	空間のアクセシビリティを最大限にするために、車いす・ベビーカーの動線、置き場、授乳スペース等の確保 →プレイスメイキングに関連(優先利用、仮設置など)	吉澤
	三浦市のソーラー発電、川場村のバイオマス発電、十日町市松之山の地熱発電など自然エネルギーを使用した空間を実現する →地域間交流、自然エネルギー	吉澤

II 各施設の活動イメージ

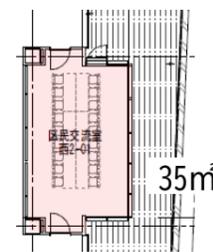
(2) 区民交流室のご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活動	シェアキッチンとして運営し、スモールビジネスの立ち上げ支援的な用途や、世田谷産の農産物などの利活用啓発、実際の提供などの「市民活動」でも活用されるようにするためキッチンスペースでは、営業行為が行えるように各種許可が取得できる什器備品類を用意する →菓子製造の許可なども	吉澤
	カウンタースペースで喫茶やスナックなどのスタイルで「市民活動」が展開されることに対応するため、区民利用スペースのカウンターでは、営業行為が行えるように各種許可が取得できる什器備品類を用意する →食器類なども／管理者側に食品衛生管理者を設定する	吉澤
	西3期棟2Fのテラスに面したキッチン付きの交流室は、多国籍の人達や地元から世田谷区に移り住んだ人達等を主体に各地の郷土料理やアイデア料理などを披露できる場所として活用ができる。料理と文化は密接につながっているため、食事を一緒に作ってあげるというのは人々の交流の基本となる。 多くの人々の参加も予想されるので、参加人数や予算の調整などをプレイスメーカーと準備する必要がある。 天気が良ければテラスを使用することも可能であれば、なおさら楽しい交流の場となり、多くの人々に持続可能なイベントを育てて行ける。★世界の料理、イベント担当	和地
	世田谷区は市民活動団体が多いので、思いついたときには予約がいっぱいで使用できないことが他の施設では多いが、多種多様な団体がある程度シェアして使える運用を目指してほしい。区役所敷地内を「居場所」として活用するために、敷地内のあらゆるスペースで休憩・休息・喫食・打合せ・おしゃべりができるプレイスメイキングを行う →・業務と業務外が入り交じるような、とくに職員側の「やってよし」ルール大事 ・備品の移動などが容易になるような「だれでも管理」的発送大事（原文ママ、発送→発想？） ・ホワイトボードやモニターなども自由に使える、マーカーや付箋がだれでも借りられる ・ゴミの処理に迷わない（4R前提にしながらもゴミ持ち帰り等ではない） ・資産管理が必要なものはNFCタグなどを活用	柴田 吉澤
平日昼間も会議に使えるといい	第1回意見	
非営利の活動団体だけ使えるのか、営利（事業利用）団体も利用できるのか整理が必要 平日昼間は区役所と市民の打ち合わせの場所として優先活用してほしい。区役所の仕事が、さまざまな人との協働で成り立っていることの見える化のひとつとなる。職員にとっても貴重な見える化。	第1回意見 齋藤	
市民との会議は昼間だけではない。夜間の会議にも利用されるだろう。	齋藤	
これらの区民交流室は、団体利用に特化してもよいと思う。個人利用は区民交流スペースを活用してもらうような区別があるほうが利用ルールが作りやすい。	齋藤	
その他	「区民交流」とはどういう意味なのか。「開かれた活動」が展開されるような施設であってほしい。	柴田
	市民・市民団体利用のニーズがどのくらいありそうなのか、リサーチできるだろうか？世田谷地域、北沢地域の活動団体は利用できる場所が増えることは歓迎なのは。	齋藤
	廃棄物抑制のフラッグシップを区役所が示すために、庁内の飲食販売においてリターナブル容器的運用を行い、4Rの徹底された施設とする →キッチンカー、ポップアップ、レストランのテイクアウトなどで使用されるリターナブル容器的運用を庁内共通で運用する。 「区民交流」とはどういう意味なのか。「開かれた活動」が展開されるような施設であってほしい。	吉澤 柴田

分類	ご意見	委員 (敬称略)
付帯設備、備品等	壁面の一部は、ホワイトボードシート、またはそれに準じた備品があるなど、常に新しい会議運営を試行することができるようにする。	齋藤
	個人PCの持ち込みや、オンラインも併用できる設備がほしい。	齋藤
	(幅広い利用者を獲得するために)敷地内のあらゆるスペースで快適にインターネットと電源が使える(ようにする) →公用ネットワーク、パブリックネットワーク両方とも	吉澤
	防災啓発を日常の利用から行うために、敷地内のあらゆるスペースが災害時の滞留空間として機能するよう、備蓄品準備を行う →防災備蓄は法令に基づく準備が行われるとの認識だが、平時のプレイスメイキングの観点と有事の観点を両立させるような備品準備と運用を行う。たとえば授乳ブースや、テレカンプスを避難所用ブースと兼ねるような。	吉澤
	カウンタースペースなど、区役所伐採樹を活用したインテリア造作のコーナーを実現する	吉澤
	区民自らが情報発信を行うことを支援するほか、行政の広報広聴においてもFM世田谷に留まらないオープンなスタイルでフレキシブルに発信を行えるようにするため、インターネット配信機能や収録スタジオなどをいまからできる範囲で全力で準備する →有線LAN接続/配信用PC/カメラ/マイク/ミキサー/スイッチャー/グリーンバック	吉澤
	親も周りに気を遣わず、ママパパ同士で情報交換したり、休憩できるスペースがあるとよい。ちょっとした遊具やおもちゃも配置。 料理ができてから、参加者と一緒に食べる”party time”ができるような椅子とテーブルが必要である。	細川 和地
ハード関連	キッチンが欲しいという検討会意見を一部に反映	第1回意見
	可能であれば2室ぐらいは家庭的なインテリアの会議室に 空間のアクセシビリティを最大限にするために、車いす・ベビーカーの動線、置き場、授乳スペース等の確保→プレイスメイキングに関連（優先利用、仮設設置など）	藤原 吉澤
	三浦市のソーラー発電、川場村のバイオマス発電、十日町市松之山の地熱発電など自然エネルギーを使用した空間を実現する→地域間交流、自然エネルギー	吉澤
	子育て世代専用の部屋（未就学児）があるといい。	細川

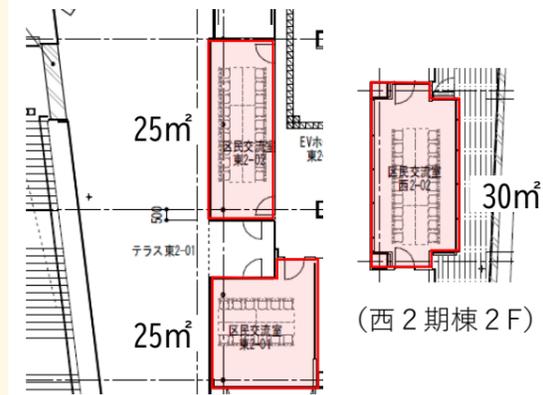
区民交流室

R 5年度開業



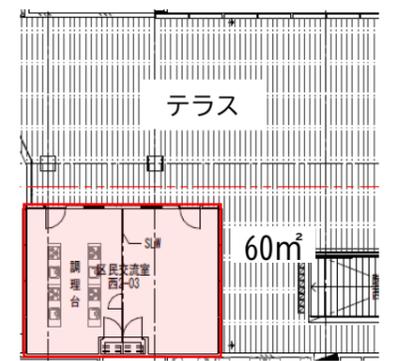
(西1期棟2F)

R 7年度開業



(東2期棟2F)

R 9年度開業



(西3期棟2F) ※キッチン付き

【事務局より】

貸出できるのは、平日夜間と土日です。(西3期棟を除く)

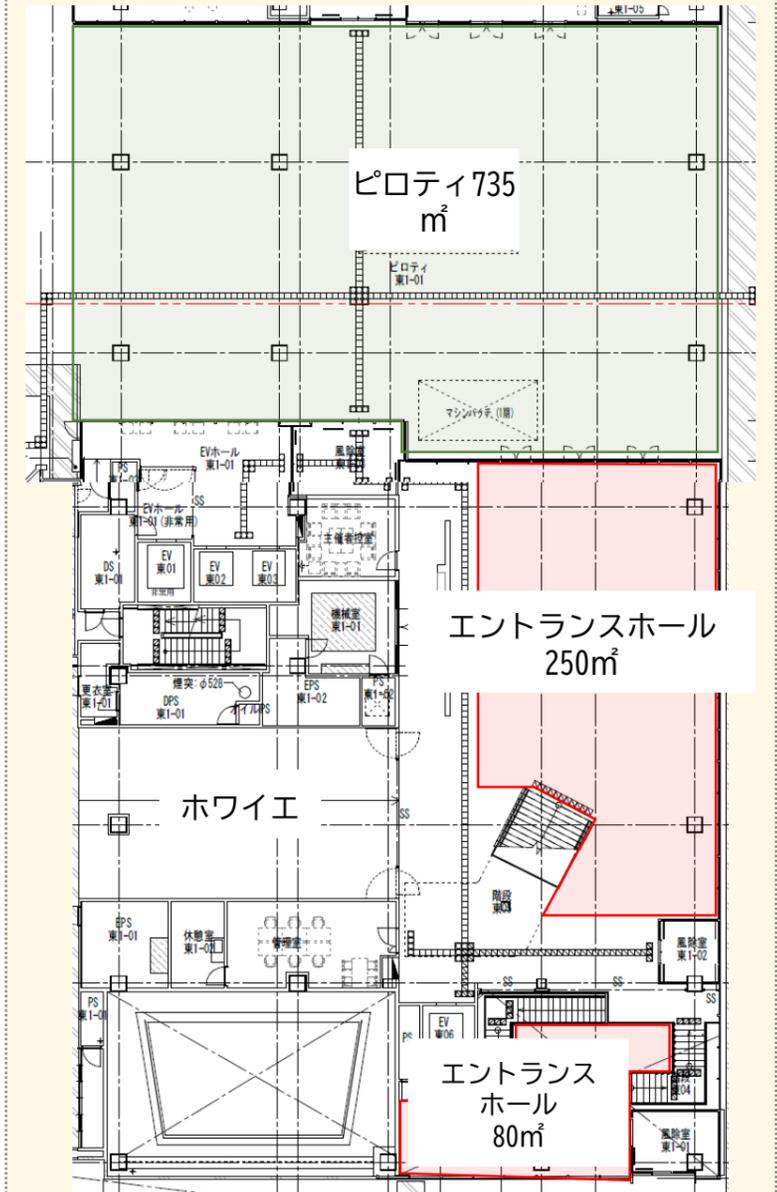
※第1回で平日昼間の利用についてご意見をいただいておりますが、今後の検討事項です。

II 各施設の活動イメージ

(3) ピロティ・エントランスホールのご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活動	ピロティとエントランスホールについては、実際に扉を開放して利用するのは限られた季節になりそう。または、大規模なイベントは区民ホールで行われるときなどの特別なとき。	齋藤
	エントランスホールはイベントに合わせたギャラリー的な利用もあるだろう。	齋藤
	区民まつり、せたがや産業フェスタなど、大規模なイベントが開催できる。	柴田
	世田谷そだち／農大ブランドの物産販売 ファーマーズマーケット（毎週日曜など定期的に開催）	藤原
	シェアキッチンとして運営し、スモールビジネスの立ち上げ支援的な用途や、世田谷産の農産物などの利活用啓発、実際の提供などの「市民活動」でも活用されるようにするためキッチンスペースでは、営業行為が行えるように各種許可が取得できる什器備品類を用意する →菓子製造の許可なども	吉澤
	カウンタースペースで喫茶やスナックなどのスタイルで「市民活動」が展開されることに対応するため、区民利用スペースのカウンターでは、営業行為が行えるように各種許可が取得できる什器備品類を用意する →食器類なども／管理者側に食品衛生管理者を設定する	吉澤
利用方法	とても広い空間のため、催事に向いているのではないのでしょうか。 庁舎の顔になる場所でもあるので、区の協定自治体の野菜を扱うなどのマルシェなど、蚤の市など賑わいのある空間になるとよい。	細川
	定期的に利用申請があれば、区内学校(高等学校や大学)の公演の場に利用し地域の方にご覧いただく。 主に部活動 ・ダンス部の発表 ・演劇部の発表	松本
	ホワイエに続くエントランスホールは広いので、音楽の演奏のコンサートに適している。プロ・アマに拘らず、演奏者の発表の場として提供できる。	和地
	毎日お昼休みに開催するコンサートといったような利用も区民にコンサートを定着できる方法として考えられる。	和地
	若者のダンスやパフォーマンスの練習・披露場所	藤原
	区民ホールの利用者にエントランスホールやラウンジ利用をも支援できる体制があれば、こうした活用を促すことができそう。	齋藤
付帯設備・備品等	ピロティ・エントランスホールは明るく開かれた場なので、空間を利用して各種イベントスペースとして利用可能。	和地
	エントランスホールの小さなスペースの方は、アート作品の展示に適している。エントランスホール担当のプレイスメーカーと利用者が協議して、利用方法を紹介、決定して運用する。	和地
	区役所敷地内を「居場所」として活用するために、敷地内のあらゆるスペースで休憩・休息・喫食・打合せ・おしゃべりができるプレイスメイキングを行う →・業務と業務外が入り交じるような、とくに職員側の「やってよし」ルール大事 ・備品の移動などが容易になるような「だれでも管理」的発送大事（原文ママ、発送→発想？） ・ホワイトボードやモニターなども自由に使える、マーカーや付箋がだれでも借りられる ・ゴミの処理に迷わない（4R前提にしながらもゴミ持ち帰り等ではない） ・資産管理が必要なものはNFCタグなどを活用	吉澤

ピロティ・エントランスホール
(東棟1F) R5年度開業



【事務局より】

区民交流スペースやエントランスホールの扉を開放することで、広場・ピロティや交流スペースとの一体的な利用も可能です。

II 各施設の活動イメージ

(3) ピロティ・エントランスホールのご意見・アイデア（続き）

分類	ご意見	委員 (敬称略)
その他	あまり開放的な場になりすぎるとただの通路になってしまい、自然に集うことがないのでは	古森
	ピロティ、広場、エントランスホールがどのように連動可能か、実際のプログラムを図面に落とし込んで検討必要。（例えば、屋外マルシェ、パン祭り、音楽イベントなど）	福岡
	雨天時のこの空間の活用は可能性がある。単なる余白空間ではなく、しっかり可能性を検討しておくことが必要。特に広場も含めた図面にして示すこと	福岡
	人の動線を点線で記入してあると理解が進みやすい	福岡
	また、庁舎全体は巨大なグレー・インフラではあるが、内部にグリーンを象徴する木質素材を、外部を中心にグリーン・インフラのエッセンスを採り入れることで、環境配慮への意志を明確に表していただきたい。	大坪
	オフィス・地方議会施設・文化施設・市民活動施設等、多様な側面を持つ新庁舎の内部は、どこも知的創造性を刺激する空間であってほしい。	大坪
	廃棄物抑制のフラッグシップを区役所が示すために、庁内の飲食販売においてリターナブル容器の運用を行い、4Rの徹底された施設とする →キッチンカー、ポップアップ、レストランのテイクアウトなどで使用されるリターナブル容器を庁内共通で運用する。	吉澤
	「気軽な誰でもコンサート、お一人様から」という宣伝をせたがや新聞に公募するというのも良いかもしれない。そういう場が区役所の中にあるというのは、年齢を問わず楽しめます。	和地
付帯設備、備品等	デザインされた区民のアナログな掲示板 地元の有益な情報が自由に掲示できる	藤原
	エントランスホールには立ったまま使用できるテーブル、長い椅子を設置するなど、人が集う工夫をする	古森
	からっぽのオープンスペースでなく、長いベンチなど、魅力的な家具があると良いと思います。	片切
	ピロティに駐輪スペースはあるのだろうか。実際には自転車利用の人はここに駐めてしまうことになる。洗練された駐輪設備があってほしい。	齋藤
	カウンタースペースなど、区役所伐採樹を活用したインテリア造作のコーナーを実現する	吉澤
	現代アートや、パフォーマンス・アーツの創作プロセスを開かれた空間で行い、区民とアートの親和性を高めるため、アーティスト・イン・レジデンススペース、アトリエ空間として活用できる造作を実現する	吉澤
	(幅広い利用者を獲得するために)敷地内のあらゆるスペースで快適にインターネットと電源が使える(ようにする) →公用ネットワーク、パブリックネットワーク両方とも	吉澤
	防災啓発を日常の利用から行うために、敷地内のあらゆるスペースが災害時の滞留空間として機能するよう、備蓄品準備を行う →防災備蓄は法令に基づく準備が行われるとの認識だが、平時のプレイスメイキングの観点と有事の観点を両立させるような備蓄準備と運用を行う。たとえば授乳ブースや、テレカブースを避難所用ブースと兼ねるような。	吉澤
アコースティックピアノを設置して、誰でも自由に演奏できる”街角ピアノ”とするのも多くの人の活用が期待できる。観客がいるといないに拘らず、音楽を楽しんで演奏できる、また演奏が聴けるといふ場になると定着していけると思う。	和地	
椅子は必要ないと思います。演奏は立って聴けるくらいの短いものが原則となります。	和地	
ハード関連	6月、本庁整備事業のひとつとして催された「庁舎の木を生かすワークショップ」に参加した。その際に木材化された現庁舎内の樹木をレガシーとして、新庁舎の内装に活用し継承するプランを実践する場として、ピロティ・エントランスホール・ラウンジは、最もふさわしいと思う。	大坪
	幸いにも、福岡委員がランドスケープデザインを手がけられた南町田グランベリーパークというよき先行事例がある。その中の「まちライブラリー」の内装や家具製作を担当した湧口善之氏（マチモノ／都市森林株式会社）には、様々なプランがあるはずだ。	大坪
	国立西洋美術館のように、コルビュジエ家具でも置けば、デザインの的に嵌るだろう。だが、敢えて無垢材質のシンプルな家具や木質タイルを使用し、創造的空間演出を図ってこそ、ワークショップを行った意義が生きるのだと思う。	大坪
	空間のアクセシビリティを最大限にするために、車いす・ベビーカーの動線、置き場、授乳スペース等の確保 →プレイスメイキングに関連（優先利用、仮設置など）	吉澤
	三浦市のソーラー発電、川場村のバイオマス発電、十日町市松之山の地熱発電など自然エネルギーを使用した空間を実現する →地域間交流、自然エネルギー	吉澤

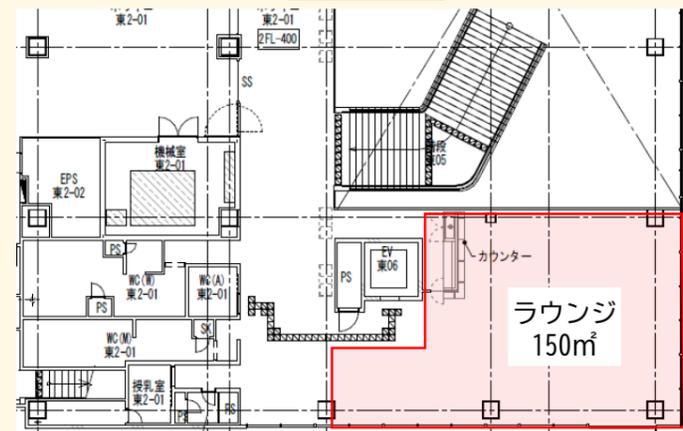
II 各施設の活動イメージ

(4) ラウンジのご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活動	シェアキッチンとして運営し、スモールビジネスの立ち上げ支援的な用途や、世田谷産の農産物などの利活用啓発、実際の提供などの「市民活動」でも活用されるようにするためキッチンスペースでは、営業行為が行えるように各種許可が取得できる什器備品類を用意する →菓子製造の許可なども	吉澤
	カウンタースペースで喫茶やスナックなどのスタイルで「市民活動」が展開されることに対応するため、区民利用スペースのカウンターでは、営業行為が行えるように各種許可が取得できる什器備品類を用意する →食器類なども/管理者側に食品衛生管理者を設定する	吉澤
利用方法	用事があって訪れた人場、飲み物や食べ物をもってふらっと立ち寄れる場所にしたい	古森
	気軽に短時間、お茶が飲めて「時間調整」できる場所にしてほしい。	柴田
	机とイスを置くことで、毎日同じ人が長時間座っているような場所にすべきではない。「交流する」意思がない人は利用しにくいスキームをつくってほしい。	柴田
	ラウンジはカフェに利用するのに最適。利用者がカフェを利用できる場ということで、カウンターをどのように使用するかは協議が必要。	和地
	各担当のプレイスメーカーと活用者の話し合いの場の一つにもなると考えられる。どの活動においてもこのプレイスメーカー活動利用者とのコミュニケーションが人々の交流の基盤をつくっていくと考えられる。	和地
	定期的に利用申請があれば、区内学校(高等学校や大学)の公演の場に利用し地域の方にご覧いただく。 主に部活動 ・ダンス部の発表 ・演劇部の発表	松本
付帯設備・備品等	ホワイトエに続くエントランスホールは広いので、音楽の演奏のコンサートに適している。プロ・アマに拘らず、演奏者の発表の場として提供できる。	和地
	毎日お昼休みに開催するコンサートといったような利用も区民にコンサートを定着できる方法として考えられる。	和地
利用方法	区役所敷地内を「居場所」として活用するために、敷地内のあらゆるスペースで休憩・休息・喫食・打合せ・おしゃべりができるプレイスメイキングを行う →・業務と業務外が入り交じるような、とくに職員側の「やってよし」ルール大事 ・備品の移動などが容易になるような「だれでも管理」的発送大事（原文ママ、発送→発想？） ・ホワイトボードやモニターなども自由に使える、マーカーや付箋がだれでも借りられる ・ゴミの処理に迷わない（4R前提にしながらもゴミ持ち帰り等ではない） ・資産管理が必要なものはNFCタグなどを活用	吉澤
	この場所は、落ち着いて休憩することのできる場所でもあるので、イベントの使用は考えないとすると、バーカウンターを運営するのは、ラウンジ担当のプレイスメーカーもしくは区役所の職員が適切かと考えられる。	和地
運営体制	区の職員は常時対応できるので、話を進めていく推進していく役割として重要。	和地
質問	流しの使用方法は？	古森
	電気ポットなどを設置する予定はありますか？	古森

分類	ご意見	委員 (敬称略)
付帯設備・備品等	「社長（区長）のおごり」自販機設置 （「社長のおごり」という、二人で社員証をタッチすると無料になる自販機がある）	藤原
	公演と関係なく、日常的に多様な使い方ができるような設えを整えると良いのでは。様々な高さの机、椅子、一人でも多人数でも使いやすいような設え。（窓側は一人席、内側はシェアして使える長机など）	福岡
	様々な情報共有できるボードなどもあると良いのでは。	福岡
	からっぽのオープンスペースでなく、長いベンチなど、魅力的な家具があると良いと思います。	片切
	カウンタースペースなど、区役所伐採樹を活用したインテリア造作のコーナーを実現する	吉澤
ハード関連	現代アートや、パフォーマンス・アーツの創作プロセスを開かれた空間で行い、区民とアートの親和性を高めるため、アーティスト・イン・レジデンススペース、アトリエ空間として活用できる造作を実現する	吉澤
	防災啓発を日常の利用から行うために、敷地内のあらゆるスペースが災害時の滞留空間として機能するよう、備蓄品準備を行う →防災備蓄は法令に基づく準備が行われるとの認識だが、平時のプレイスメイキングの観点と有事の観点を両立させるような備品準備と運用を行う。たとえば授乳ブースや、テレカンブースを避難所用ブースと兼ねるような。	吉澤
	空間のアクセシビリティを最大限にするために、車いす・ベビーカーの動線、置き場、授乳スペース等の確保 →プレイスメイキングに関連（優先利用、仮設置など）	吉澤
	三浦市のソーラー発電、川場村のバイオマス発電、十日町市松之山の地熱発電など自然エネルギーを使用した空間を実現する →地域間交流、自然エネルギー	吉澤

ラウンジ（東棟2F）R5年度開業



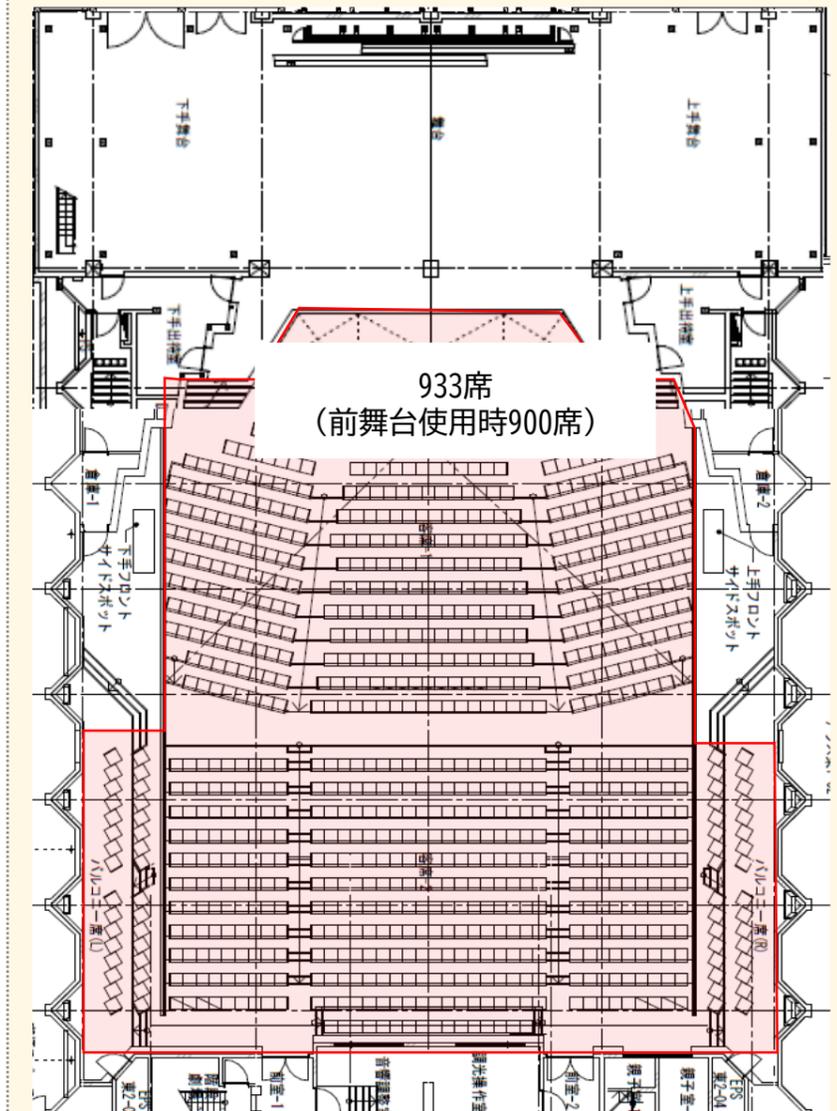
【事務局より】
椅子や机、カウンター（流し）が設置されます。少し奥まった場所にあるラウンジですが、公演の幕間だけでなく、公演が無くても、いつでも立ち寄れる場所です。ラウンジからは、サンクンガーデンの木立や池を望むことができます。

II 各施設の活動イメージ

(5) ホール（区民会館エリア）のご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活動	区独自のチャリティーイベント。	藤原
	ホールでの実演+出演者と触れ合いながらチャリティー協力	
	世田谷区の学校に通う小～大学生が参加するワークショップを開く。集会室や区民交流室に分かれて課題に取り組み、各グループの発表をホールで行う	古森
	近隣学校施設の発表の場 (部活の公演等 来場者を幅広くする。)	松本
	〇〇セミナー	
	近隣交番、警察署と連携し実際に現職の警察官を招いてのセミナー。例えば、高齢者を対象とした振込詐欺防止活動の公演等。	松本
	世田谷区には多摩美大キャンパスがあり、桐朋学園がすぐ近くの調布市に位置し、さまざまな芸術分野の人材が住んでいる。世田谷美術館・世田谷文学館等は誇りうる活動を展開しているが、一方で区立の公演会場は精彩を欠く感を否めなかった。	大坪
	新会館の音響設備はかなり改善されると聞く。会場規模から言って今後もオーケストラ公演は昭和女子大人見記念講堂がメッカであり続けるのだろうが、それ以外のさまざまなパフォーミング・アートは、今まで以上に公演会場として選ばれるようになることを期待する。	
	近隣小中高等学校のPTAとして、学芸発表会で一定期間毎年利用していた。こうした利用者にとって、この場所はひとつのランドマークとなる。	齋藤
	ホール、ピロティ、広場などが一体として毎年体験されるのであり、学校が定期的に利用できることの効果は大きい。	
年に1度のせたがや音楽祭等、せたがやこども音楽祭など、イベントごとを企画して実施してはどうか。素晴らしいホールができるので、区外の方が使用するだけでなく、区民や、区で活動する団体にも是非使ってほしい。	細川	
ホールの活動は幅広い層の演奏家の演奏会が望まれる。ホールの演奏会の演者（アマチュア）はオーディションを受ける必要があるということにして、演奏内容の充実を目指す。また、アマチュア演奏家も舞台に立つ経験を得られるよう広く公募して演奏会を開く。	和地	
区民参加型ワークショップの開催が可能。	和地	
利用方法	使用予定がない日は、区内の中学校の吹奏楽部や合唱部に練習の場として貸し出すというシステムも作りたい	古森
その他	廃棄物抑制のフラッグシップを区役所が示すために、庁内の飲食販売においてリターナブル容器の運用を行い、4Rの徹底された施設とする →キッチンカー、ポップアップ、レストランのテイクアウトなどで使用されるリターナブル容器を庁内共通で運用する。	吉澤
	演奏者は「ホールで演奏した」という認定を付与して、他の活動に活用できるような経験とする。	和地
付帯設備、備品等	防災啓発を日常の利用から行うために、敷地内のあらゆるスペースが災害時の滞留空間として機能するよう、備蓄品準備を行う →防災備蓄は法令に基づく準備が行われるとの認識だが、平時のプレイスメイキングの観点と有事の観点を両立させるような備品準備と運用を行う。たとえば授乳ブースや、テレカンブースを避難所用ブースと兼ねるような。	吉澤
	リハーサル室の利便性を最大限高めて稼働率を上げるため、PAや大型楽器（グランドピアノ、ドラムセット、打楽器類、コントラバス）を備品として準備する	吉澤
	区民自らが情報発信を行うことを支援するほか、行政の広報広聴においてもFM世田谷に留まらないオープンなスタイルでフレキシブルに発信を行えるようにするため、インターネット配信機能や収録スタジオなどをいまからできる範囲で全力で準備する →有線LAN接続/配信用PC/カメラ/マイク/ミキサー/スイッチャー/グリーンバック	吉澤
ハード関連	空間のアクセシビリティを最大限にするために、車いす・ベビーカーの動線、置き場、授乳スペース等の確保 →プレイスメイキングに関連（優先利用、仮設置など）	吉澤
	三浦市のソーラー発電、川場村のバイオマス発電、十日町市松之山の地熱発電など自然エネルギーを使用した空間を実現する →地域間交流、自然エネルギー	吉澤

ホール（区民会館エリア）（東棟）R5年度開業



【事務局より】

このシートに書くこと（公演等）が浮かばないかもしれませんが、ホールがある特性を活かして、事業・活動をよりよくできるようなことがあれば、それを他のシートに書くことをご検討ください。
例えば、

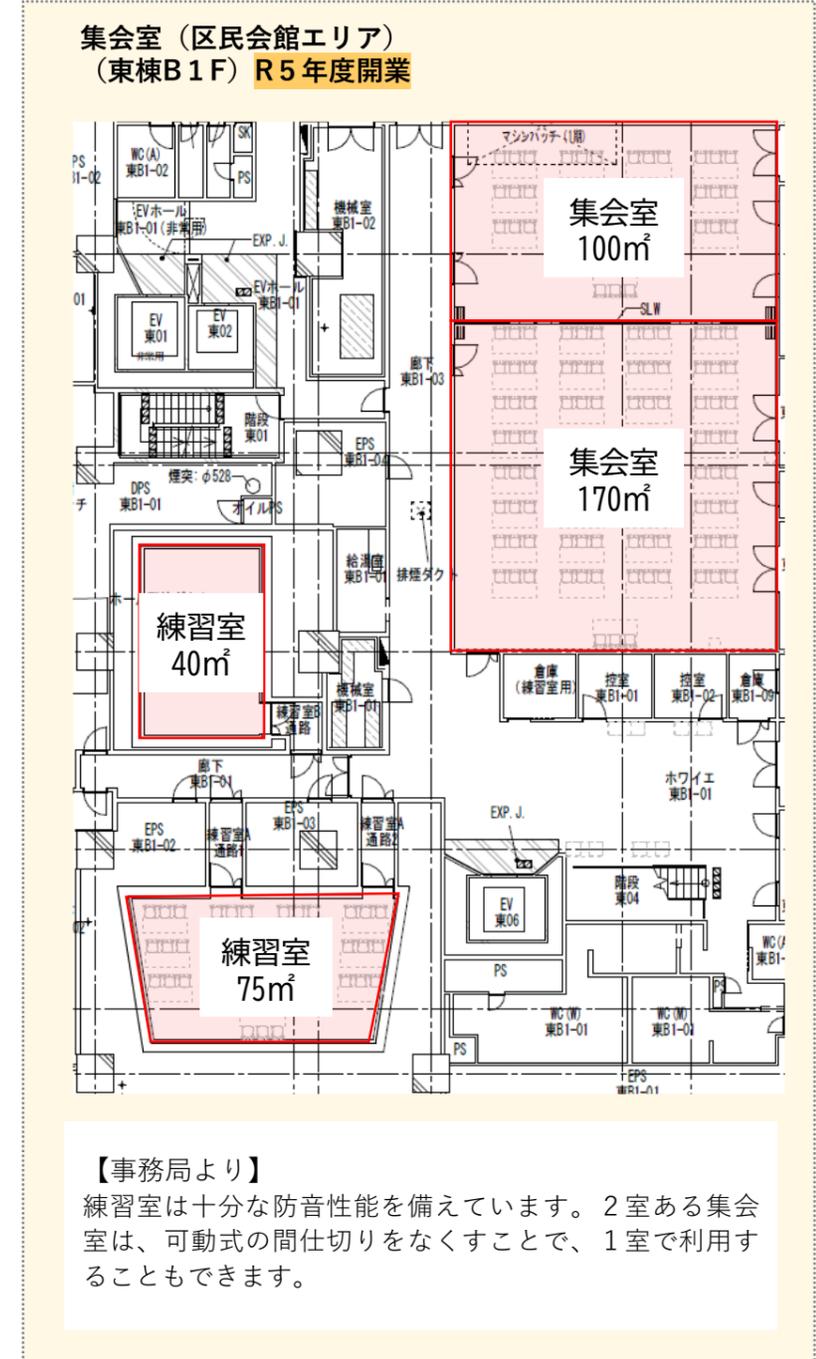
- ・アーティストとのつながりを生かし、ほかの場所（広場等）で気軽に触れられるパフォーマンスをする
- ・ホールで区民が舞台に立つために日々ほかの部屋で練習や勉強をする
- ・心身の機能の維持・向上・回復など区民の生活に近い課題解決を演劇や音楽、ダンスの力を活かして取り組む

といった事業・活動の是非についてもお考えください。

II 各施設の活動イメージ

(6) 集会室・練習室（区民会館エリア）のご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活動	ヨガ教室	松本
	囲碁や将棋の大会や練習場または教室としての運用。	和地
	子どもたちが参加利用できる内容も多くして、全体のバランスを考える。	和地
利用方法	集会室、練習室の活動運用は自由に設定。	和地
	使用規定は、使用頻度、使用時間を担当プレースメーカーが協議で設定する。	和地
	学生の学習室としての利用を協議する必要性。	和地
その他	大規模な集会室を区民が利用できるのは貴重。地下なので、利用率が上がるような工夫も必要。	齋藤
	廃棄物抑制のフラッグシップを区役所が示すために、庁内の飲食販売においてリターナブル容器の運用を行い、4Rの徹底された施設とする →キッチンカー、ポップアップ、レストランのテイクアウトなどで使用されるリターナブル容器を庁内共通で運用する。	吉澤
	集会室、練習室で行うワークショップに関しては、開催する運用者と協議。	和地
付帯設備、備品等	防災啓発を日常の利用から行うために、敷地内のあらゆるスペースが災害時の滞留空間として機能するよう、備蓄品準備を行う →防災備蓄は法令に基づく準備が行われるとの認識だが、平時のプレイスメイキングの観点と有事の観点を両立させるような備品準備と運用を行う。たとえば授乳ブースや、テレカンブースを避難所用ブースと兼ねるような。	吉澤
	リハーサル室の利便性を最大限高めて稼働率をあげるため、PAや大型楽器（グランドピアノ、ドラムセット、打楽器類、コントラバス）を備品として準備する	吉澤
	区民自らが情報発信を行うことを支援するほか、行政の広報広聴においてもFM世田谷に留まらないオープンなスタイルでフレキシブルに発信を行えるようにするため、インターネット配信機能や収録スタジオなどをいまからできる範囲で全力で準備する →有線LAN接続／配信用PC／カメラ／マイク／ミキサー／スイッチャー／グリーンバック	吉澤
	練習室にはピアノもしくはキーボードの設置。	和地
	集会室にはスクリーンを設置して、講習や講義等の利用に対応。	和地
	ハード関連	集会室も、もう少し細分化出来るよう、カーテンなど検討出来ると思います。 (P3、区民交流スペースと同様です。) 空間のアクセシビリティを最大限にするために、車いす・ベビーカーの動線、置き場、授乳スペース等の確保 →プレイスメイキングに関連（優先利用、仮設置など） 三浦市のソーラー発電、川場村のバイオマス発電、十日町市松之山の地熱発電など自然エネルギーを使用した空間を実現する →地域間交流、自然エネルギー



II 各施設の活動イメージ

(7) 東棟屋上庭園のご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活動	屋上庭園ヨガ（一番区役所に来ないターゲット層向けのイベント） 西棟の屋上庭園とセットで活動イメージを検討したい。	藤原 齋藤
事業・活動× 付帯設備、備品	区内剪定材を薪にして、ピザ釜をつくる	吉澤
事業・活動× 運営体制	一つの生態系が実装できれば子どもの学習の場にもなりコンテンツにもなりそう 大学の授業の単位と連携した環境整備、区民プロボノ（専門職のボランティア）や団体によるコンテンツ化・事業化 →楽しく労働して得た利益を配分できるモデル	藤原
	東西屋上庭園の実験的管理運営、緑化や生物多様性の学習と実践の場とプログラムを提供したい。	齋藤
運営体制	緑の政策のトップランナーとしての取り組みにチャレンジしてほしい。	齋藤
	誰がどのように管理・活用するのか、すべてを行政に頼るのではなくコモンの視点で考える必要がある	第1回意見
	・区民と一緒に作り上げていくことが大事。すべてではないが、一部を区民で管理していただいたり、植栽をこどもと一緒にイベント的に行うなど、身近なものになるとよい。	細川
	「（私的所有でもなく、公的に所有されているものでもない、）地域共同管理の対象としての自然資源およびこの資源の共同管理制度」というコモンの本来的定義（『コモンズの社会学』井上真・宮内泰介（編）より）に従うなら、屋上庭園は、最もコモンの管理と利活用になじむ。地元NPOなどの活動団体が主体となり管理し、コミュニティガーデン活動などを行う。高木の植栽管理などは、造園業者にアウトソーシングすればよい。	大坪
	コモンと指定管理・業務委託との違いは、イニシアチブのあり方だろう。コモンでは管理主体は地盤所有権者の区ではなく、市民団体になる。もっともそれは、現実に即したアジャストが必要で、実際には「市民団体に大きな裁量権を付与する協定を締結した上での官民共同管理」となるだろう。「参加と協働」を謳うならば、そのような仕組みづくりに一步を踏み出すべきではないか？（因みに私はそれをマイクロ・コモンズ（MC）と命名し、昨夏、区長他にプレゼンした。MCは、都市計画学会『都市計画』次号で、竹内智子千葉大准教授が言及する） また、そのためにも「ローメンテナンス（管理のし易さと、ローコストオペレーションを両立する仕組み）」実現のためのさまざまな工夫が必要だと思う。	
	学校、専門家と市民。企業と学校、などが協働できる仕組みづくりがほしい。	齋藤
	完成までに、屋上緑化の事例研究などをつみあげながら運営方法を検討するべき。	齋藤
	プレイスメーカーと称される担当者は各施設の活動に必要とされます。	和地
	活動を実現するための基本的（制度的）知識や企画・準備に具体的に考えて、企画に携わることのできる立場の人は行政から各1名は必要と思われます。	和地
	他の区民からのプレイスメーカーのボランティアと共同で、担当者として話し合って実施していくことになると思います。	
担当はハード面（施設の整備等）とソフト面（施設の活動等）に大きく分けられますが、個々の活動の場と内容に対してそれぞれの担当がつくことが望ましい。活動する人との話し合いの過程こそが課題としている「人々との交流」を実現可能にしていくと思います。	和地	
行政に頼るのではなく、しかし行政の大きな枠の中で、安心して活動を営んでいけるような積極的な視点で取り組んでいく作業が必要です。	和地	
植栽の種類	植栽はエディブル（食べられる）植栽や多年草など 区民の参加も促しながら考える手法もあるのでは。	福岡
	花や紅葉以外に食べられる作物を育てる。（ゴーヤの緑のカーテンや、ミニトマト等） 栽培できた野菜は屋上庭園の入り口あたりに籠を設置しご自由にお取りください方式が面白そう。	松本
その他	花壇…草本類の植込みスペースを取るべき。	大坪
	芝生…拙宅では、今夏過去30年で初めて芝生が枯れた。	大坪
	廃棄物抑制のフラッグシップを区役所が示すために、庁内の飲食販売においてリターナブル容器の運用を行い、4Rの徹底された施設とする →キッチンカー、ポップアップ、レストランのテイクアウトなどで使用されるリターナブル容器を庁内共通で運用する。	吉澤

分類	ご意見	委員 (敬称略)
付帯設備、 備品等	休日にお弁当を持って立ち寄る空間にしたい。ベンチ（できればテーブルも）の数を増やしてほしい 座って休憩できる場所が少ないままだと、屋上まで足を運ぶ人は少ないと予想される 緑陰、日除けとそれに合わせて家具の設置。 特に多人数で使える長手の椅子、座面をプロムナードに沿って配するなど、多様な使い方を許容する設えが必要	古森
	バイオマス利活用を推進し、炭素排出抑制と自然エネルギー（等を推進するために、） 区内剪定材を薪にして、薪ストーブの空間をつくる	福岡
	（幅広い利用者を獲得するために）敷地内のあらゆるスペースで快適にインターネットと電源が使える（ようにする） →公用ネットワーク、パブリックネットワーク両方とも	吉澤
	防災啓発を日常の利用から行うために、敷地内のあらゆるスペースが災害時の滞留空間として機能するよう、備蓄品準備を行う →防災備蓄は法令に基づく準備が行われるとの認識だが、平時のプレイスメイキングの観点と有事の観点を両立させるような備品準備と運用を行う。たとえば授乳ブースや、テレカブースを避難所用ブースと兼ねるような。	吉澤
ハード関連	屋上まで完全バリアフリーに移動でき、足腰が不自由な人がマイクロモビリティで屋上を回遊できる	藤原
	水栓・電源などイベント時に使いやすいようにインフラも必要。	福岡
	屋上での夕刻や夜の利用も促せるように照明もあると良い。単に緑地として考えるのではなく、区民が使える屋外の部屋を設えるイメージで現在の計画に修正を加えていくと良い。	福岡
	木陰の休息コーナー…デッドスペースとなる可能性が高いと思う。	大坪
	土壌・灌水システムには相当の配慮が必要。	大坪
	水場・倉庫・電源…自動灌水するにせよ水場は必須	大坪
	園路…コンクリート平板は、せめて洗い出し仕上げに変更できないか？	大坪
	空間のアクセシビリティを最大限にするために、車いす・ベビーカーの動線、置き場、授乳スペース等の確保→プレイスメイキングに関連（優先利用、仮設置など）	吉澤
	三浦市のソーラー発電、川場村のバイオマス発電、十日町市松之山の地熱発電など自然エネルギーを使用した空間を実現する →地域間交流、自然エネルギー	吉澤
	・雨水の活用 （植物に水をあげるだけでも私の子供は楽しそうに、喜んでやります！）	細川

東棟屋上庭園 R5年度開業



【事務局より】

東棟の屋上庭園は、四季折々の花や紅葉、緑陰をつくる樹種で構成し、快適空間を創出します。出入口前には軽運動、休憩、遊びなど様々な利用ができる芝生広場があり、中央を貫くプロムナードに沿って縁台のある日影棚、緑陰樹の下でくつろぐことができる木陰の広場や長ベンチなどを整備します。園路舗装は、バリアフリーの歩きやすいコンクリート平板が主体です。また、イベントができるように電源も確保する予定です。

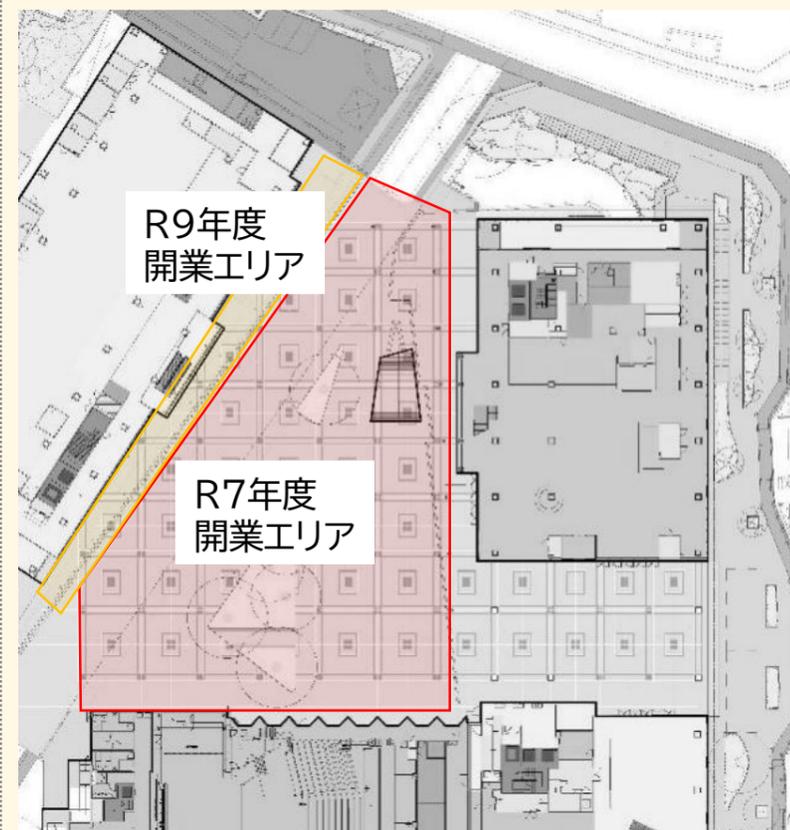
II 各施設の活動イメージ

(8) 広場のご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活動	夏：子供用ビニールプール	松本
	事業としては区民主体の事業、区主体の事業、マネジメント主体の事業（自主事業）を想定し、大規模なイベントも視野にいれる。	福岡
	野外イベントとして大道芸や演奏会も楽しめる場となると常時人々が集う場となる。	和地
運営体制	キッチンカーの誘致案も含めてプレイスメーカー調整準備をする必要がある。 (野外イベント担当)	和地
利用方法	キッチンカーが来るといいという意見が検討会で出ていた	第1回意見
	避難場所、有事の情報公開場所としての機能	藤原
	レンタル傘、レンタサイクル	藤原
	朝・昼・夕方の用途のデフォルトイメージを作る 朝はラジオ体操、昼はキッチンカー、夕方はランタン点灯など	藤原
	従来では小さな椅子、テーブルが所々に設置されていて、お弁当を食べている人の姿が見られます。野外での季節のイベントを催す場としてふさわしい。夏はビニールプールで子どもたちが遊んだり、スイカ割や金魚すくいなどを楽しめたら、多くの子どもたちにとって楽しい交流の場となる。	和地
	ブースでの物品の販売も従来続けられると良い。	和地
	キッチンカーは曜日や日付を決めて誘致するのがよい	古森
	キッチンカー →近隣商店街飲食店のの小売りの場 ※購買みたいなイメージ	松本
	キッチンカー、災害用車両が入れることに大賛成	藤原
	みんなの使い方に合わせた機能を考えたい	第1回意見
その他	建物のドア・開口の位置と広場の関係をスタディし、プログラムごとの設えの変化を図面に落とし込んで可視化する。 ・休日や夜間などは地域住民のゆったりした利用ができる都会的な広場として親しまれていたのである。これからも(世田谷区としてのシンボルだけでなく)地元地域のシンボルとして機能してほしい。	福岡
	廃棄物抑制のフラッグシップを区役所が示すために、庁内の飲食販売においてリターナブル容器の運用を行い、4Rの徹底された施設とする →キッチンカー、ポップアップ、レストランのテイクアウトなどで使用されるリターナブル容器を庁内共通で運用する。	吉澤
	中庭は庁舎のイメージを作り出すと思われる。手を抜かずに手入れを継続し、ずっとそこにいたいと思うような緑がある空間にしてほしい。	柴田
	ケヤキを保存し、木漏れ日の空間が継承される中庭広場は雨天時には雨に濡れずに東西間を移動できるようリング状にテラスで囲まれる計画がなされていて、本庁舎全体の建物の中心となるスペース。従来から区民に開かれて活用してきた馴染みのある場所である。	和地
	この広場が新しい市庁舎のコンセプトを伝えられる名称をつけることが望まれる。	和地

分類	ご意見	委員 (敬称略)
付帯設備・備品等	照り返しが強くて暑そうで、どこに座ればいいのか	第1回意見
	デザインされた区民のアナログな掲示板 地元の有益な情報が自由に掲示できる	藤原
	ベンチ等座れる環境がないとただの通路になってしまい、人が集まる場所にならない	古森
	広場で日常的に利活用が促進できるように木質系の様々な高さの家具、電源、日除けをセットで設える。毎日場所を変えてもよい。	福岡
	屋外カーテンや、タープを設置するなど、日差しを遮りつつ外部空間で活動できる場を計画する必要があります。建築と一体になるようなものが出来ると良いと思います。	片切
	かまどベンチは非常時のみならず、アトラクションでも活用できる。しかもその活用が、非常時の訓練にもなり得る。 先日、佐藤委員にコーシャハイム千歳烏山の事例をお見せしたが、3基のかまどの前に水場と長いテーブル状のコンクリート製設備があり、非常時に備えている。これらは有用で、ぜひ採用すべきだ。	大坪

広場 R7年度一部開業 R9年度全体開業



【事務局より】

中庭広場は、既存のケヤキを保存しつつ、「新年のつどい」等のイベント会場として使用できるように、フラットな空間とします。また、現庁舎竣工当時の舗装パターンを、保水性コンクリート平板を使用して復元します。なお、災害時には、緊急車両等の駐車スペースとします。

II 各施設の活動イメージ

(8) 広場のご意見・アイデア（続き）

分類	ご意見	委員 (敬称略)
付帯設備等 (続き)	防災啓発を日常の利用から行うために、敷地内のあらゆるスペースが災害時の滞留空間として機能するよう、備蓄品準備を行う →防災備蓄は法令に基づく準備が行われるとの認識だが、平時のプレイスメイキングの観点と有事の観点を両立させるような備品準備と運用を行う。たとえば授乳ブースや、テレカンブースを避難所用ブースと兼ねるような。	吉澤
	(幅広い利用者を獲得するために)敷地内のあらゆるスペースで快適にインターネットと電源が使える(ようにする) →公用ネットワーク、パブリックネットワーク両方とも	吉澤
	現代アートや、パフォーマンス・アーツの創作プロセスを開かれた空間で行い、区民とアートの親和性を高めるため、アーティスト・イン・レジデンススペース、アトリエ空間として活用できる造作を実現する	吉澤
	区民自らが情報発信を行うことを支援するほか、行政の広報広聴においてもFM世田谷に留まらないオープンなスタイルでフレキシブルに発信を行えるようにするため、インターネット配信機能や収録スタジオなどをいまからできる範囲で全力で準備する →有線LAN接続/配信用PC/カメラ/マイク/ミキサー/スイッチャー/グリーンバック	吉澤
	日常利用として近隣や高校・大学生の屋外ミーティングの場としての設えをつくる。プランターや水栓も入れ、大きな広場に柔軟にいくつか屋外の部屋を作るイメージ。	福岡
植栽計画	花壇と低木植栽も取り入れるべきだ。意図するのは〈東棟屋上庭園〉に同じ。	吉澤
	イベント時、観客は、冬は日向で、夏は日陰で過ごしたいだろう。その調整役を果たすのが高木（落葉樹）である。 樹木が視界を遮っては意味がない。樹高が高いほど・本数が少ないほど、視界は開ける。日陰を作るのは枝葉であり、肝要なのは樹冠面積であって、本数ではない。十分に自然樹形を保てない密度で樹木がひしめく姿は見たくない。樹種・数量・配置はよく検討すべきである。	福岡
	「木陰で休む」ことができるようなスペースがあると良い。	大坪
	ケヤキの樹は、できるだけ大きく成長できるように管理してほしい。大きな緑陰がなければ、この広場で佇むことができない。ベンチがあっても夏は座れない。	大坪
付帯設備・備品	植栽計画 広場全体で木陰や日除けが少ないので、一度日影図を作成して足りない部分は補えると良い。	柴田
ハード関連	広場でのイベントを考えて、電源やポールなどの埋設も可能な限り行う。	齋藤
	空間のアクセシビリティを最大限にするために、車いす・ベビーカーの動線、置き場、授乳スペース等の確保 →プレイスメイキングに関連（優先利用、仮設設置など）	福岡
	三浦市のソーラー発電、川場村のバイオマス発電、十日町市松之山の地熱発電など自然エネルギーを使用した空間を実現する →地域間交流、自然エネルギー	吉澤

II 各施設の活動イメージ

(9) 複数施設や全体の活用のご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活	新年こどもまつりの雪スロープを新庁舎でも実現する →地域間交流のさらなる充実化	齋藤
	2階レベルをつなぐテラスを魅力的にするには？さまざまな実験を試行できる取り組みがほしい。	齋藤
運営体制	エフエム世田谷が使われる時間は良いのだが、使用しない時間が長いと、カーテンが締まっているだけとなり、スペースのまさに中心となる位置にある意味がわからなくなる。区民交流スペースとも連携した番組を毎日でも流してほしい。運営する団体の企画会議には参加すべきだと思う。	柴田
	プレイスメーカーのメンバーや担当について意見交換したい。利用者が主体となって活用していくため、プレイスメーカーの対応、活動が重要。	和地
	施設全体の活用をそれぞれの場に分けて担当を決定する。他に設備を考えるプレイスメーカーを決める。主に区民交流スペースの設備や配置を協議する。メンバーの中に椅を作る業者またはデザイナーの参加が必要。	和地
	(新世田谷区役所の市民利用活性化に向けての整理) 「4つのマネジメント視点のある管理運営」	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">I 参加と協働のマネジメント 「人々の汽水域としての区役所空間利活用の実現に向けて」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">II アートマネジメント 「区民会館を中心に、単なる貸館管理に留まらない多彩なアート利活用マネジメントの実現に向けて」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">III パークマネジメント 「屋上、広場を中心に単なる施設緑化に留まらないグリーンマネジメントの実現に向けて」</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">IV 周辺エリアマネジメント 「世田谷区役所周辺をコアとするエリア活性化の実現に向けて周辺各駅からのアクセス向上・エリア内回遊性向上・区内各支所エリアとの広域連携」</p> </div>	吉澤
利用方法	テラスの活用について意見交換したい	第1回意見
	若者が主体運営する小商い（例 駄菓子屋さん） 若者の職業体験、社会貢献の場	藤原
	アクセスしやすい場所にフードパントリーがある （消費期限が近い食品を受け取ってもらう場所）	藤原
	ペットの同伴はどの程度許されるのか 広場や屋上へのペット同伴を許可すると日々の散歩コースになることも期待できる	古森
付帯設備・備品等	劇場のバルコニー席のような利用が出来ると良いと思います。家具を置くなどして、上下の関係性が生まれる様にしたいです。	片切

分類	ご意見	委員 (敬称略)
売飲食・その他	カフェ等を設置するなら、どのカフェにするのかは大きなポイント。	古森
	1階にカフェや飲食がないのなら、売店での販売商品は重要なアイテムとなる。きちんと連携を取れるようにしてほしい。	柴田
備品等	西棟の屋上緑化は閉鎖空間となるようだが、それは職員用の福利厚生施設（例：菜園）になるのか？ 市民団体が管理に参画する余地はあるか？ もし菜園にするとして、現在、私が喜多見農業公園で試行している収穫物の福祉的活用（子ども食堂等への野菜の供給）を、そこでも実践することは可能か？	大坪
	自販機（お菓子屋パンが売っているコンビニ自販機、アイスクリームが売っている自販機等を含む）があればよい 区民交流スペースの交流の入り口として椅子の役割が重要。担当プレイスメーカーで検討する必要がある。 例えば、虹色に分けて子ども用と高齢者用を作る。	古森 和地
ハード関連	どのコンビニが入るにしても、外観を目立たないようにしてほしい。	柴田
植栽関連	テラスの幅は、検討の過程でかなり狭くなったと記憶するが、可能であればプランターを設置してはと思う。 「庁舎の木を生かすワークショップ」に参加した際、湧口善之氏がデザインした植栽ユニットの見本を見たが、金属枠の内側の素材に、「たまがわ50」が手がけるグリーンアップサイクル素材が使えると思い、アンケートにその旨記載した。 さまざまなアイデアやリソースを区内団体から求めること、環境（みどり・ゼロエミッション・温暖化対策…）に配慮したモノを優先的に採用することは、常に念頭に置くべきことと考える。	大坪
質問	売店で購入したお弁当を、区民交流スペースで食べることになるのだろうか。	柴田
	ビオトープは、どこに設置するのか？	大坪

複数施設や全体の活用



【事務局より】
個別のシートにない施設（テラス、売店等）の活用についてのご意見も併せてご記入ください。

II 各施設の活動イメージ

(10) 施設外のご意見・アイデア

分類	ご意見	委員 (敬称略)
事業・活動	「花手水」や「風鈴のれん」など、松陰神社、豪徳寺、世田谷八幡、近隣の商店街とつないで美しい風景をつなげたい	藤原
	家具づくりや植栽の世話など地域と連携していけると、活動が繋がっていくので良いと思います。	片切
	区役所のお隣りの国土舘大学と連携して、各学部の知的活動、文化的創造事業を展開してはどうか。大学生の活動を学内だけにとどめず、より区民に近い場所で展開してもらう。この新庁舎建設というタイミングを活用して、防災協定だけでない新たな連携を進めるべき。	柴田
	近隣学校施設の活動発表の場	松本
	警察、消防との連携による市民の方に向けたプチセミナー	松本
	地元商店街や歴史的な資源、緑道ネットワークなども活用した魅力的な歩けるルート計画がほしい。	齋藤
運営	大学や高校、商店会、自治会との連携はとても大切だと思います。とてもゆるい委員会等を立ち上げて、施設利用について考えたり、イベントごとを一緒に企画していくなどすることで、交流や学生にとっては学びにもなると思います。幅広い世代間の交流が重要な視点かと思っています。	細川
その他	テーマと少し焦点がずれるが、Instagram等で区から情報発信するのも有効 学生は出かける場所を調べるときにまずInstagramを使う	古森
	区民の区役所の利用頻度は低いというアンケート結果がある。役所としての機能だけでは、1年に1回どころか、一度も利用しない区民も多くいるだろう。 こうしたことを考えると、ラジオ局の運営は直接現地に来ない人への間接的なアクセスになると考えられる。	齋藤
	区役所のある町の商店街との連携事業は未来を感じます。松陰神社前の商店街は古くから町並みを感じる昔ながらの商店街の雰囲気がある小さな商店が並んでいます。こういう町並みは都内では貴重になってきています。新しい区役所には変わっても今までの暮らしを大切にする。それは、世田谷区という地域の個性になっています。世田谷らしい自然体の持続可能な人々との交流、活動の中にあってこそ新しい出会いや交流・活動が育まれていくと思います。それは、俯瞰的に見ると、東京という大都市の魅力であると感じます。東京の最も魅力的な所は、都市にも関わらず、たくさんの古い大きな木々があり、緑豊かな公園が多くある所だと感じます。どんなに近代化されても古い歴史とともに呼吸していると感じることは大切なことです。	和地
	世田谷区は、しっかり地に足をつけて世田谷らしい、暮らしに誇りを持てる区民の町にこれからも育って行ける未来を感じます。施設内には、様々な交流の場が設けられているので、新しい区役所は飛躍的に区民の暮らしの活動が盛んに行われるようになって、区民の暮らしはより充実した楽しい日々になることを期待しています。それは、一人一人の利用者がそれぞれ活躍できる場となって人々の交流が求める暮らしとなっていくことを育んでいきます。そういう活動を実現できるよう、活動する人を育ていけるよう広く町の中へ出て、連携していくのは大切なことです。	和地

【事務局より】

地域団体や福祉施設、教育機関、区内の他の公共施設、商店街との連携事業など、区役所内の区民利用施設だけにとどまらない利用について、アイデアやご意見があればお示しください。